



広陵町

No.121

令和5年5月1日



議会だより

曾我川沿いの桜(百済)



広陵中学校入学式
制服が新しくなりました



広陵西小学校



予算を審査 何に使うの？

目次

P.2	就任のごあいさつ
P.3	常任委員会・議会運営委員会
P.4	議会News
P.5	令和5年度予算審査
P.8	臨時会・定例会
P.14	一般質問
P.27	地域のつながり
P.28	委員会の窓

山村 美咲子議員が議長に 副議長には千北 慎也議員



議長
山村 美咲子

就任の「あつらひ」

このたびの臨時会におきまして、広陵町初の女性議長に就任いたしました。大変光栄でありますとともに、重責に身の引き締まる思いです。女性ならではの感性を大切に、誠心誠意努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症による影響、物価高、エネルギー高が家計を直撃して多くの方が将来への不安を感じておられます。

そうした中、議会基本条例のもと「開かれた議会、討論する議会、行動する議会」を信条に、常に町政及び議会の情報を発信しながら、町民の皆さまとの対話を大切にして協力し合い、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

議会として皆様の負託にお応えできるよう日夜研鑽に励み、活動してまいりますので、様々なお立場からのご指導ならびにご助言を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



副議長
千北 慎也

本年はいよいよ、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型が2類から5類に下がります。名実ともにアフターコロナと呼べる本年だからこそ、二元代表制の一翼を担う議会としては、コロナ禍の政策の影響をきちんと評価、点検し、今後必要な施策を提案する必要があります。

また、広陵町自治基本条例のもと、本町が進める協働のまちづくりにおいては、議会もまちづくりの主体の一つと位置付けられています。昨年度は、町内の2団体に出向き意見交換会という形で、議会基本条例上の議会報告会を実施いたしました。引き続きより効果的にみなさまと意見を交わす方法を模索し、共にまちづくりに取り組んでまいります。

町民のみなさまにとって身近な議会であるよう、情報発信を行い、開かれた議会となれるよう努めてまいりますので、引き続き広陵町議会へのご理解・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年

第2回
臨時会
4月14日

臨時会が、4月14日に召集されました。

案件3件が提出され、原案のとおり同意、可決しました。

また、議長・副議長などの役員改選が行われました。

人事

★町監査委員の選任

町監査委員のうち、議会

議員から

吉村 裕之 議員
よしむら ひろゆき

(大字正相)を選任することに同意しました。

★固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会

委員に、

泉谷 健司 氏
いずた けんじ

(馬見北6)を選任することに同意しました。

(任期) 令和5年4月26日から3年

常任委員会構成決まる

一定部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行うために、総務文教委員会と厚生建設委員会の常任委員会があります。また、議会を円滑にするために、議会運営委員会が設置されております。

総務文教委員会

〈主な所管事項〉

行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査



委員長
吉村 裕之



副委員長
八尾 春雄



委員
坂口 友良



委員
堀川 季延



委員
山村 美咲子



委員
青木 義勝



委員
岡橋 庄次

厚生建設委員会

〈主な所管事項〉

社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項及び土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査



委員長
坂野 佳宏



副委員長
岡本 晃隆



委員
千北 慎也



委員
山田 美津代



委員
笹井 由明



委員
谷 禎一



委員
吉村 眞弓美



委員 八尾 春雄
委員 青木 義勝
委員 吉村 眞弓美
委員 堀川 季延
副委員長 岡本 晃隆
委員長 笹井 由明

議会運営委員会

議会 News

婦人会の皆さまがお茶の接待

議会開催中の3月15日に、婦人会のご厚意でお抹茶とお菓子をいただきました。



予算審査勉強会

令和5年度予算案について、住民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策などの事業がどのように盛り込まれているか意見交換を行い、予算審査特別委員会に臨みました。



畿央大学付属広陵こども園見学

3月20日、議会終了日に、畿央大学付属広陵こども園を見学してまいりました。

今年の4月から、西小学校隣に、こども園が開園します。

西幼稚園、西第二幼稚園を廃園して、北校区に続き開園されるこども園は、木のイメージを大事にした、暖かでかわいらしい園舎でした。

畿央大学生達が手作りした木の椅子、ハート型やいろいろな形があり裏側には大事に使ってね〇〇と作成者の名前が書かれていて、大学生の愛情がこもった椅子でした。

真新しい園舎で、のびのびと学び遊んで欲しいと議員一同の思いでした。



令和5年度一般会計予算を可決

このようなことに使われます

予算額134億5,000万円

公共交通運行事業

広陵元気号の中央幹線を一部路線再編し、運行継続する。支線部分については、更なる利便性向上をめざし、予約型の自家用有償運送へ移行する。10月から本格見直しを実施する。

予算
8,158
万円

インクルーシブ教育推進事業

町立小学校に在籍する特別な支援が必要な児童、教師に対し、療育分野の外部専門家の訪問により、指導・支援の充実を図る。

予算
128
万円

地域再生可能エネルギー導入戦略

町の自然的社会的条件を勘案し、温室効果ガスの排出量削減等を推進するために目標を設定し、再生エネルギーの導入、省エネルギーの促進など実行計画の策定をめざす。

予算
1,000
万円

まちじゅう図書館

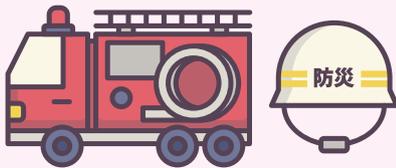
「もっと身近に図書館」をコンセプトに、いつでも本が身近にある環境を構築していく。イズミヤ店舗内に子育て支援も含めた図書スペースの構想を計画中であり、地域も含め「まちじゅう図書館」にする。



予算
57
万円

防災100年計画事業

疋相区・大垣内区の狭あい道路をモデルケースとし、基幹路線を設定のうえ防火帯として道路整備を行う。住宅の建替えに合わせ道路拡張を進めることで、緊急車両が通行でき防災力の向上につながる。



予算
200
万円

平成緊急内水対策事業

奈良県と連携して、古寺川・広瀬川・馬見川流域で雨水を一時貯留する施設を整備し、流域で発生する浸水被害の頻度を軽減させる。また、貯留施設は非貯留時に運動施設等の有用な活用ができるような施設機能を併せて検討する。

予算
3億5,000
万円



広瀬川(大場)▶

社会資本整備総合交付金事業

国の創意工夫を生かせる総合的な交付金を活用し、道路や通学路等の住環境・市街地整備などの事業を行う。(平尾・疋相線、百済中央線バイパス、南郷8号線、赤部26号線、南2号線ほか)



▲赤部26号線

予算
4億4,097
万円

骨折ゼロのまちづくり事業

骨折は日常生活動作の制限のみならず、寝たきりや要介護の要因となり、手術・入院・リハビリ等による医療費増加にもなっている。健康増進事業の観点から骨折予防に特化した内容として取り組むことで、歩いて暮らせるまちづくりとして町全体の健康の底上げをめざす。

予算
69
万円

予算審査

ここが聞きたい
予算審査特別委員会

134億
5,000万円

一般会計

歳入

問 クラウドファンディングを活用した事業は予定しているか。

答 各部署の予算査定では聞いていないが、商工会の靴下組合では、クラウドファンディングを活用した取組みを2、3年かけて準備している。町予算についても活用方法を周知していきたい。

歳出

総務費

問 地域公共交通活性化協議会での議論の内容は。

答 会議の中で、デマンド交通に関する意見が出ていることを報告している。アンケート内容についても議論し、デマンド交通の必要性を調査した結果、タクシー文化が根付いておらず比率的には少なかった。

問 デマンド交通の意見に近づけるため、自家用有償運送を導入してはどう

かとタクシー業界やバス業界と協議し、現在のプランを協議会で諮り了解を得た案となっている。

問 基幹システム標準化事業の計画は。

答 基幹システムの7市町で検討を進めている。来年度4月以降にある程度方針が決まり、再来年度から具体的に予算化する見込みである。標準化にあたっては、7市町が継続できること、現在のシステムが円滑に継続できることを前提に考えている。

問 マイナンバーカードの交付率とカード更新についてはどうか。

答 交付率は2月末現在で63.9%である。カードの有効期限は、18歳未満は5年、18歳以上は10年となっており、国から、有効期限の3か月前に更新の案内が通知される。

民生費

問 社会福祉協議会補助金について。

答 社会福祉協議会では、福祉有償運送の事業計画は上がっているが、予算は計上していない。公共交通をはじめ、福祉有償運送、自家用有償運送や介護タクシーを並べると何が不足するかが浮き上がってくる。現在、地域ごとのささえ愛で、買い物支援をすることも可能になると考えられ、いろんな角度で検討している。

問 成年後見人制度利用支援事業助成金の内容は。

答 この助成金は、後見人の報酬に対するもので、月2万8千円の12か月分の助成を1人計上している。

衛生費

問 旧清掃施設解体工事設計業務について、解体範囲や跡地利用など、どのように進めていくのか。

答 広陵町ごみ処理町民会議を改組して、議論していく。跡地利用については、南側の町営地も含め地元の方々と話し合っている。解体費については、基本設計として全体を取り壊した場合の額を算出したい。

農商工費

問 「広陵くつした」ブランディング支援のコーディネーターの業務や支援内容は。

答 アドバイザーの紹介等により、ブランドとのコラボが構築されつつある。なりわいやKOCOBIZのセンター長と調整しながら、商品開発やブランドとのやりとりに伴走できる支援を構築していきたいと考えている。

問 百済川向地区農地中間管理機構関連地整備事業について、完了予定はいくつか。

答 昨年11月からA地区の工事に入っており、本年11月には耕作できるよう進めている。その後、B地区、C地区の順にそれぞれ1年ごとに進めていく。

土木費

問 平成緊急内水対策事業3億5千万円のなかに、馬見川調整池の工事は含まれているのか。

答 馬見川調整池においては、令和4年度で掘削を行っており、令和5年度予算のうち、2億円を計上している。

消防費

問 地区防災計画作成支援の内容は。

答 真美ヶ丘第一小学校区では、自治体7団体が個々に計画を作られており、それらを地区防災計画にまとめる最終段階に入っている。ここをモデルとして他の校区も地区ごとの状況に応じた実効性のある計画を作成していく。コンサル業者や広陵町防災士ネットワークの地区防災計画班の支援を仰ぎながら進めていきたい。

教育費

問 コミュニティ・スクールにおけるコーディネーターの今後のあり方は。

答 コミュニティ・スクールを全校に配置したが、コロナ禍で活動が出来なかつた状況である。その中で、地域側のコーディネーターと教員側のコーディネーターが、共に活動を進めていくことが必要である。コーディネーター同士で話しやすい環境に配慮しながら、うまく繋いでいきたい。

問 スクールロイヤー関係事業費の内容は。

問 スクールロイヤル制度は、法的な側面から学校でのいじめ防止や教師の業務効率化と負担軽減をめざしたものである。昨年2学期から試験導入しており、7校で21回の相談があった。費用は、1回の訪問相談で1万6千円、電話相談で5千5百円であり、これを積算根拠として予算計上している。

国民健康保険 特別会計

35億
6,260万円

問 国保税が県統一化されると、国保運営協議会の運営はどうなるのか。

答 奈良県単位化で統一保険料率になっても、それぞれの市町村で保険税条例を持つことになる。運営協議会で保険料率も議論いただく。県が示した税率は変わらないが、将来的に町の状態を踏まえ、運営協議会で意見をいただき、県に話を持って行く。また、決算や予算もあるので8月と2月に開催を予定している。

後期高齢者 医療特別会計

5億
5,510万円

問 保健事業一体化実施委託事業とは。

答 令和6年度から実施が義務づけられている事業で、後期高齢者医療の保健事業と介護予防の一体的実施となっている。事業内容は、高血圧の方で、受診につながっていない方を対象に個々に指導し、受診につなげる。また、

地域の通いの場や後期高齢者医療健診後の結果送付時に事業の案内をし、高齢者の介護予防のための普及啓発に取り組む事業となっている。

介護保険 特別会計

27億
5,780万円

問 介護予防普及啓発事業に関し、第8期の介護保険事業計画で、通いの場が目標40か所と掲げているが、目標達成はどうか。

答 通いの場を実施していく普及啓発が、この2、3年はコロナ禍の影響もありできなかった。現在は28か所であるが、令和5年度で2か所増える予定である。今後、感染症の位置づけも変わってくることから、積極的に普及啓発に取り組んでいく。

墓地事業 特別会計

1,990万円

問 墓地永代使用料返還金で、873万円の計上があるが、売り買いのベースで言うと、経営は成り立つのか。

答 合葬墓の周辺もまだ空地がある。その空地も含めて、町が起債を借入れて墓地として整備し、一区画97万円で売るといふ条例になっている。未使用で墓地を返還した場合は、97万円の6割を返還する。本来、全て売り切って、一般会計にお金を返すというのが最終目標だが、社会情勢も変わってきてお

り、現状は維持管理費をいただいて墓地を守っている状況である。

学校給食 特別会計

3億
3,670万円

問 小学校、中学校の地産地消の取り組みはどうか。

答 地産地消の割合は、令和4年度6月と11月に調査した結果、小学校が6月、11月共に35.3%、中学校は6月は32.6%、11月が30.4%となっている。小学校、中学校共に、地産地消でいちごやナス、大和まななどをメニューに取り入れ、給食に提供している。

問 令和5年度は、どういう食育をし、残食率を減らしていくのか。

答 令和5年度についても、栄養教諭を中心に、地産地消も含めた食育を進めていく。6月の給食週間に向けて、ナスや葉もの野菜の交渉を、農協を通じてお願いしている。残食については、引き続き少なく抑えられるように取り組んでいく。

水道事業会計

(収益的支出) 8億9,921万2千円
(資本的支出) 4億4,546万5千円

問 給水栓数が、150件増えているが、資本的収入が減っているのは何故か。

答 広陵町の人口が微増だが上昇しているのに伴い、給水栓数が増加してい

る。それに伴い、収入の水道事業収益の水道使用料が増えている。資本的収入については、工事に伴う収入であり、工事の内容により増減する。令和4年度と比べると、令和5年度は工事負担金が減少している。

下水道事業会計

(収益的支出) 10億4,040万4千円
(資本的支出) 8億5,087万6千円

予算審査特別委員会

- 委員長 堀川 季延
- 副委員長 岡橋 庄次
- 委員 坂口 友良
- 委員 千北 慎也
- 委員 山田 美津代
- 委員 山村 美咲
- 委員 谷禎 一



令和5年1月19日議会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第1号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第10号)	子育て応援給付金が創設されたことによる補正

令和5年3月議会提出議案(議案は採決し、報告は町長専決の報告)

議案番号	件名	概要
報告第1号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の専決処分の報告について	こども家庭庁設置法の施行に伴い、関係条例の整理
報告第2号	公用車物損事故による損害賠償額の決定に係る専決処分の報告について	職員が起こした交通事故(過失割合9割)の損害賠償額の決定。33万3千円をすべて保険で補填
報告第3号	令和5年度広陵町土地開発公社予算について	令和5年度の予算及び事業計画の報告
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	再任同意
議案第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	再任同意
議案第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	再任同意
議案第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	新任同意
議案第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	新任同意
議案第7号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	一定年齢(55才~60才)に達した職員の高齢者部分休業制度を導入
議案第8号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	定年延長制度を導入
議案第9号	職員の定年等に関する条例の一部を改正することについて	定年年齢を61才に引上げ(2年ごとに1才ずつ引上げ)及び60才で役職を降る役職定年制の導入など
議案第10号	広陵町国民健康保険税条例の一部を改正することについて	令和6年度から県単位化に伴い県内統一保険料水準に合わせるための税率改正
議案第11号	広陵町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び広陵町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	親の子に対する懲戒権(親から子どもへの体罰禁止)にかかる規定を削るための改正
議案第12号	広陵町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び広陵町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	安全計画の策定、利用乳幼児の送迎する自動車にブザー等を設置する規定の整備を受けての改正
議案第13号	広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて	出産育児一時金を42万円から50万円に引き上げる
議案第14号	広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて	土地の所有者等の同意によらずに給水装置の新設等を申し込んだものに対し、通知が行われていることを確認するための改正

議案番号	件名	概要
議案第15号	広陵町エコセンター設置条例の廃止について	エコセンターを廃止する
議案第16号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第11号)	不用額の減額及び国庫補助金の活用など。3億1,567万2千円の減額補正
議案第17号	令和5年度広陵町一般会計予算	令和5年度の〈一般会計予算〉を定める
議案第18号	令和5年度広陵町国民健康保険特別会計予算	〈国民健康保険特別会計予算〉
議案第19号	令和5年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算	〈後期高齢者医療特別会計予算〉
議案第20号	令和5年度広陵町介護保険特別会計予算	〈介護保険特別会計予算〉
議案第21号	令和5年度広陵町墓地事業特別会計予算	〈墓地事業特別会計予算〉
議案第22号	令和5年度広陵町学校給食特別会計予算	〈学校給食特別会計予算〉
議案第23号	令和5年度広陵町水道事業会計予算	〈水道事業会計予算〉
議案第24号	令和5年度広陵町下水道事業会計予算	〈下水道事業会計予算〉
議案第25号	古寺川調整池整備工事(2工区)に係る請負契約の締結について	一般競争入札くじの結果、村本道路・松井特定建設工事共同企業体が落札。契約金額は税込み8,188万9,500円
議案第26号	広陵町まちづくり推進計画を定めることについて	広陵町自治基本条例の検証及び評価や推進するとともに、理念を具体化する計画策定
議案第27号	広陵町男女共同参画後期行動計画を定めることについて	平成30年に策定した計画の中間年を迎え、社会情勢の変化を踏まえて改定する
議案第28号	広陵町公共施設等総合管理計画の一部を改訂することについて	総務省から通知及び指針改定により計画の一部を見直す
議案第29号	奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置に関する協議について	基本協定締結により任意協議会を法定協議会として設置する協議
議案第30号	奈良県葛城地区清掃事務組合規約の変更について	議会構成変更(定数24名から20名に、首長会議に替わり運営協議会を置く)
議員提出議案第1号	予算審査特別委員会設置に関する決議について	予算審査のため7名で委員会を設置する
議員提出議案第2号	地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書について	(10ページに全文紹介します)
議員提出議案第3号	保育所等職員の配置基準改善、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書について	(10ページに全文紹介します)

議会の傍聴にお越しく下さい!

議会はみなさんに公開しています。気軽に来てください。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。
日程については、議会事務局までお問い合わせください。
ホームページにも掲載予定です。

ホームページ <http://www.town.koryo.nara.jp>

地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書

気候変動により、世界中で大規模な自然災害が発生するなど、気候変動への対応は今や人類共通の課題となっている。世界的に脱炭素への機運が高まる中、我が国においても2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年のカーボンニュートラル実現という目標を掲げている。

今こそ、需要サイドにおける徹底した省エネや循環経済の構築と共に、供給サイドにおける再生可能エネルギー等の普及拡大による、地域のグリーントランスフォーメーション(GX)が必要である。

よって政府においては、飛躍的な省エネと革新的な創エネによる地域のGXで、新しい経済成長を実現するために、下記の事項に総力をあげて取り組むことを強く要請する。

記

- 1 各家庭の省エネ促進に向けて、関係省庁で連携して、省エネ効果の高い断熱窓への改修など住宅の省エネ化や、太陽光発電と蓄電池を組合せた電力の自給自足への支援を強化すること。
- 2 天候に左右されて出力変動が起きてしまう再生可能エネルギーの特性を補うため、蓄電池の大容量化・低コスト化とともに、余剰電気を水素で蓄えること等を可能とするための研究開発を

加速すること。

- 3 家庭向けのヒートポンプ給湯器や家庭用燃料電池など、また産業向けの産業用ヒートポンプやコージェネレーションなど、熱需要の脱炭素化・熱の有効利用に向けた設備等の導入を促進すること。
- 4 「系統整備」には莫大な資金が必要となるため、資金調達等が可能となる環境整備をすること。さらに、期間短縮や経済合理性や、より効率的な送電システムの整備への技術開発を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月20日

奈良県広陵町議会

経済産業大臣	西村	康稔	様
環境大臣	西村	明宏	様
国土交通大臣	斉藤	鉄夫	様

保育所等職員の配置基準改善、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書

コロナ禍でも基本的に開所が求められている保育施設では、感染防止対策をしながら、子どもの命と健康を守り、発達を保障する保育が行われているが、保育士等の精神的・肉体的な負担は大きく、保育士不足に拍車をかけている。これらを改善し、質を確保した保育の受け皿を増やすためには職員の増員と処遇の改善が急務である。

国において「新子育て安心プラン」が示され、待機児童がいる自治体限定であるが、保育所において「各クラスで常勤保育士1名必須配置」であったところを、短時間パート保育士だけで担当できるとする緩和がなされた。

また、小学校においては、順次35人学級（一般的には25人前後の学級が増える）が実現することになり、さらなる少人数学級の推進が課題になっている。にもかかわらず、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）は75年間変わらないままであり、改善の検討が必要とされている。

コロナ禍のなかで、保育所の重要性はますます明らかになり、職員の増員とともに、その職責に応じた処遇改善がなされるべきであり、国による措置が求められている。

よって、国におかれては、下記の事項について実

現されるよう強く要望する。

記

- 1 保育所等の職員配置基準の改善を検討するとともに、保育に従事する職員の職責にふさわしい待遇改善など必要な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月20日

奈良県広陵町議会

内閣総理大臣	岸田	文雄	様
財務大臣	鈴木	俊一	様
厚生労働大臣	加藤	勝信	様
文部科学大臣	永岡	桂子	様
少子化対策特命担当大臣	小倉	将信	様

令和5年3月定例会

議案採決状況一覧(○賛成 ×反対)

※採決が分かれた議題のみを載せております。

議案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷禎一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第10号	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません。	○	○	○	○	×	原案可決
議案第17号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第18号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第19号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第20号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第22号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第26号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第28号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第29号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議員提出議案第2号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	

<p style="font-size: 1.2em; color: #e67e22;">反対</p> <p>自衛隊に町が名簿を渡している事は個人情報漏洩になる。マイナンバーカードは任意なのに、保険証機能を持たない人にペナルティを課することは情報漏洩が懸念されるから、作らない人たちに不利益になることを進めている事、また公共交通は予約式の有償運送は一步前進だが、家の前まで来てくれる香芝市と何故同じように出来ないかその努力が見えない事で反対。</p>	<p style="font-size: 1.2em; color: white; background-color: #27ae60; padding: 5px;">議案第17号</p> <p style="font-size: 1.2em; color: white; background-color: #27ae60; padding: 5px;">令和5年度広陵町一般会計予算</p>	<p style="font-size: 1.2em; color: #27ae60;">賛成</p> <p>令和6年度県単一標準保険税率の導入に向け、本町の国保財源の中で保有する財政調整基金の計画的な取崩しを行い、被保険者の負担に可能な限り配慮した段階的な税率改正であると窺える。</p>	<p style="font-size: 1.2em; color: #e67e22;">反対</p>	<p style="font-size: 1.2em; color: white; background-color: #27ae60; padding: 5px;">議案第10号</p> <p style="font-size: 1.2em; color: white; background-color: #27ae60; padding: 5px;">広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて</p>
--	--	--	--	---

賛成

令和5年度広陵町一般会計については、マイナンバー制度導入の目的は、①国民の利便性向上、②行政の効率化、③公正・公平な社会の実現で、国民の利用が進まない、国民生活の利便性向上や経済の生産性向上が進まない。情報を管理する行政や政府との信頼関係の構築に努力は必要。自衛隊への名簿の提示については、自衛隊法等により、町は対応している。現在では国民に代わり自衛隊が日本を守る責務を負っている。と考えると、法律の続きにより、自衛隊充実のために協力は必要。公共交通については、本公共交通は、地域利用者より不便で利用も少ないと厳しい意見があるが、改善へ努力されている。高齢化の進行で、公共交通に要望や期待も大きくなっていく。住民第一で改善に取り組むよう要望する。

(全体的) 必要な公的サービスを安定的に支える歳入構造、歳出の無駄を省き適切な事業執行を願う。



議案第18号
令和5年度広陵町国民健康保険特別会計予算

反対

県統一に向けての保険税が上がる予算で、その上、町独自の減免制度も維持できないとなると低所得者の生活が壊され大変になる。

賛成

特定健診や特定保健指導への取組、生活習慣病リスクのある方への発症予防の取組、また各健診事業では受診率向上への取組、特に骨折0のまちづくりを目指す新規事業を開始するなど積極的に行う予定である。限られた財源の中で、保険給付や保険事業について、できる限りの対応を図っていることから賛成する。

議案第19号
令和5年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

反対

2年ごとに上がる保険料も負担になり医療費も倍にされ、もっと不安が増えることを国は検討している。

賛成

本予算は、先に可決された国民健康保険特別会計と密接な関係があり、国民健康保険特別会計の歳出項目を見てもわかるように、後期高齢者支援金等、2億8,700万円など一本的に運営されるものであり、予算執行もあり賛成。

議案第20号
令和5年度広陵町介護保険特別会計予算

反対

介護保険が始まった時から3倍くらいの保険料になり、低所得者の施設入所者への特別配慮もなくなり、大変な介護量になり負担増になりサービスを使えなくなる人が出てくるため反対。

賛成

社会全体として介護費用が増大する中、広陵町においては認知症予防や自立支援など、介護費用を抑制するための工夫がなされているため賛成。

議案第22号
令和5年度広陵町学校給食特別会計予算

反対

中学校は残食数が多いまま小学校は物価高騰分を、他の市町村は保護者負担を避けるためにふるさと納税分を充てるなどの工夫を検討しているのに、広陵町は検討もせず保護者負担にしたから反対。

賛成

子どもたちの健やかな成長・発達を保障するために、食教育が重要な役割を果たすことを考えれば、学校給食の無償化に踏み出すことは、喫緊の課題である。本町としても給食

<p>賛成</p> <p>この計画は、令和3年6月に制定された広陵町自治基本条例を、町民、議会、行政それぞれができること、それぞれの主体が集まって協働できることを具体的な施策として実施していくものだ。これからのまちづくりに非常に重要な計画であることから、賛成する。</p>	<p>反対</p> <p>町は盛んに住民の自治を強調するが、参加が難しいと感じている住民は置き去りにし、参加する住民にはこれまで町が実行してきたことまで下請けのごとくさせようとしている。住民間に新たな階層性が生ずる危険もある。</p>	<p>議案第26号</p> <p>広陵町まちづくり推進計画を定めることについて</p>	<p>費の補助を実施しており、奈良県下の市町村が国に対し「国の責任ですべての小、中学校の学校給食を無償にすること」を求める意見書を提出することになっている。よって、自治体や保護者の負担が増大しない措置である無償化に向けた施策であると窺えるので賛成。</p>
---	--	--	--

<p>反対</p> <p>従来の「入り」と「出（で）」をバランスさせる手法から、水道管の耐用年数を機械的にあてはめ独立採</p>	<p>議案第29号</p> <p>奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置に関する協議について</p>	<p>賛成</p> <p>将来的には、公共施設は老朽化率が高くなり、かつ税収入は減少することから、官民連携による施設更新ということは重要であると考える。よって、この議案については賛成。</p>	<p>反対</p> <p>7年前に「建て替える際に起債を認めて欲しいなら提出せよ」と総務省に言われて町が提出していた計画を、今度は一部見直せとの指示で改定しようとしている。住民の願いは老朽化が進むインフラ施設の維持管理更新であるのに、中央公民館の問題に顕著にみられるように、後回ししたり計画そのものを断念する口実に使おうとするもので、計画に住民参加の発想がない。</p>	<p>議案第28号</p> <p>広陵町公共施設等総合管理計画の一部を改訂することについて</p>
---	--	---	--	--

<p>賛成</p> <p>GXを加速させることで、エネルギー安定供給と脱炭素分野で新たな需要・市場を創出し、日本経済の産業競争力強化・経済成長につなげていくことから賛成。なお、原子力の活用については安全性の確保を大前提としている。</p>	<p>反対</p> <p>東日本大震災で多くの被害者を出した3月に、原発再稼働容認の意見書を採用するのは不謹慎ではないか。</p>	<p>議員提出議案第2号</p> <p>地域のグリーントランスフォーメーション（GX）の促進を求める意見書について</p>	<p>賛成</p> <p>安全・安心な水道水を効率的に供給するため21市町村及び企業団を統合する。県域水道一体化で①水道料金は町単より、値上げ率が抑制される。②住民対応窓口は10年かけ適正に整理していく。③町内の水道課題は同事業団で協議し対応する。</p>	<p>算とし、5年毎の料金引き上げを狙っている。効率化のために浄水場を廃止し、将来の民間委託まで否定していない。水道事業に住民の声が届きにくくなる心配もある。</p>
--	--	--	---	---

一般質問

町政を問う



よしむら ひろゆき
議長 吉村 裕之

坂口 友良 議員(15ページ)

- 新公共交通体系の新年度予算について
- 西谷公園リニューアル後の管理体制は
- 支援が必要な児童・生徒・教師への対策は

八尾 春雄 議員(22ページ)

- 中央公民館の建て替えについて
- 学校給食無償化について
- マイナンバーカードについて

谷 禎一 議員(16ページ)

- 箸尾準工業区域事業の着工はいつから
- 農業保護と産業振興は十分な整備計画を
- 交通公園をこども園に利用するのは安全か

青木 義勝 議員(23ページ)

- 洪水時に北小と東小校舎を避難所に
- はしお元気村の現状、充実の課題

吉村 眞弓美 議員(17ページ)

- 子どもや若者の声を政策に反映させる仕組み
- ゲームで対戦・多世代交流と介護予防

山村 美咲子 議員(24ページ)

- 安心して安全な子育て環境の整備について
- 農地における野焼きについて

笹井 由明 議員(18ページ)

- 地方創生総合戦略とSDGsについて
- 不登校児童生徒への支援体制について

千北 慎也 議員(25ページ)

- やりたいと困ったを繋ぐ協働の仕組みづくり

岡橋 庄次 議員(19ページ)

- 余裕ある教職員の確保について
- 中学校給食の残食について

坂野 佳宏 議員(26ページ)

- 中和幹線周辺の地区計画の進捗状況は
- ドッグランについて

堀川 季延 議員(20ページ)

- 障がい者への寄り添いを問う

岡本 晃隆 議員(21ページ)

- 今後の新型コロナウイルス感染症対策
- 働き方改革の推進に向けた取組

一般質問を3月8日～10日に行いました。
なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

会議録は、6月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



公共交通

新公共交通体系
の
新年度予算に
ついて

問 過去最高の、8千150万円の予算を提出された。

この新体系で、「空気を運んでいくのでは」という苦情も少なくなると期待している。町民からは、「ドアツードアではないのか」という声も出ているが、地域公共交通活性化協議会では、住民代表などが入り、意見が言える協議会になっているのか。

町長

地域の実状をよく把握していただいている、区長・自治会長・老人クラブ連合会等の参加や住民アンケート、パブリックコメント等で最適な公共交通となる



さかぐち ともよし
坂口 友良

よう、鋭意取り組んでいる。実施時には、住民説明会も予定している。

公園施設
西谷公園リ
ニューアル後の
管理体制は

問 西谷公園には、パーゴラや遊具の設備、建物も新築に近い出来ばえで、見違えるほど立派な近隣公園になった。平日でも、多くの利用者で賑わっているが、次は、これを維持運営していく体制が重要であるが、計画通り進んでいるのか。

町長

小学校と連携し、遊具を決めたり、畿央大学や地元協議会と協議を重ね、行政だけではなく、

地元により愛着を持つていただけの公園となるよう整備を進めている。管理についても、地元と行政で主体的に管理を行う協働の維持管理が実現できればと考える。

教育支援
支援が必要な児
童・生徒・教師
への対策は

問 小学校で、放課後塾の学習指導員をしているが、年々支援が必要な児童・生徒が急増している。

また、教職員への支援が必要なものも身近に聞くなど、新対策が必要になってきた。福祉や法的な支援も必要になるが、対策はどうか。

教育長

インクルーシブ教育推進を実施し、民間の支援で小学校2校をモデル校として実施する。また、弁護士によるスクールイヤー制度や、通級指導も真美ヶ丘中学校での開設を予定している。



箬尾準工業
事業の着工はい
つから



たに よしかず
谷 禎一

問 町の一般会計予算の1/3の大規模事業で失敗できないのに、県の許可が未だ得られず、施工業者が着手できない状態が続く。

また、当初の事業計画では道路などのインフラ整備は本事業に含まれており、それを含むと予算をオーバーしている。他の事業では発生土の再利用を指導して2,500万円削減。本工事でも同様に削減できる。今後無駄な工事を無くし、余ったお金の有効利用を図る。

① 開発許可の取得はまだか。
 ② 許可に必要な役所と協議は完了したか。また、水道施設は決定したのか。
 ③ 購入土地で不動産鑑定士

が認識していない杭（長さ8m、146本）が残存している。売主の責で撤去（予想額数千万円）するもので、公社は負担すべきでない。

町長

① ② 開発許可は得ておらず、協議調整中。外周仮囲いや道路の地盤改良工事を着手している。
 ③ 適切な撤去が必要なため、杭は公社で負担し撤去する。

農業と産業

農業保護と産業振興は十分な整備計画を

問 ① 農地保護と産業振興は相反するが、計画的なゾーン分

けをして実行していくのが必要だ。町の考えは。
 ② 農地の管理監督指導の部署は。公共施設が無断転用農地を直接、間接を問わず利用していないか。

町長

① 農業振興地域整備計画の策定と合わせて、ゾーニングを検討する。農業委員会でおこなう。
 ② 現在はない。該当する農地については今後は正していく。



こども園
交通公園をこども園に利用するのは安全か

問 選定土地は葛城川と土庫川の間で、河川氾濫の危険性が大きい。先に認定保育園関係の設計費が計上されているが、園児が利用する施設は、安全を最優先して決定しなければならぬ。

また、町ハザードマップには、町独自の危険要因が含まれていないことは再三指摘している。県で確認されるように。

町長

ハザードマップを参考に安全対策を整備し、法人に安全確保の方策を指導する。

参画
子どもや若者の
声を政策に反映
させる仕組み



よしむら まゆみ
吉村真弓美

問 自殺や虐待、いじめ、不登校、貧困など、子どもや若者を巡る問題が多様化・深刻化する中、課題解決に向け当事者目線を大切にすることは重要である。広陵町においても、予算権限を持つ会議体として、こども・若者議会の設置が必要ではないか。

町長 声を直接聞く場を創出することは重要と考える。

問 広陵町として具体的には、どのような仕組みを作っていくべきか。

町長 総合計画の審議会で、部会というものを作ることに、子どもや若者にかかる政策について、子どもや若者が評価したり、意見を述べたりということができる機会が持てるのではないかと考える。

福祉
ゲームで対戦・
多世代交流と介
護予防

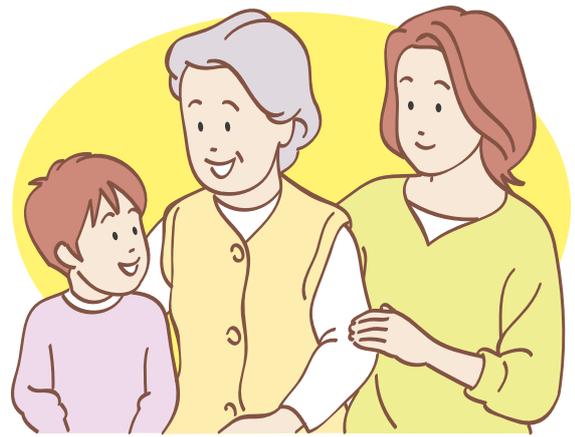
問 コンピューターゲームを使って人と人が勝負をする「eスポーツ」。囲碁や将棋、パズルなど、高齢者にも親しみやすいゲームも多く、実は高齢者のコミュニケーションツールとして採用する自治体が増えている。

eスポーツなど、趣味や興味に関する刺激は、今までの正攻法で、解決しなかった、制度の狭間にいる方たちを、支援につなげていけるのではないかと考えている。

趣味や興味に関する活動は自分自身を刺激し、自己肯定感を高めたりすることができ。さらに、同じ趣味を持つ人が集まるグループに参加することで、新しい人脈を作ることできる。趣味や興味に関する活動は、例えば、引きこもり状態から抜け出すための大きなきっかけともなるのではないか。

町長 制度の狭間にいる方たちへの、新たなアプローチとしての可能性はある。行政として取り組むためには、きちんと

した制度や仕組み、エビデンスなどが必要で、研究と共に、デジタル推進課としては、DX推進計画を策定予定なのでその中で、議論をしていきたいと考える。





ささい よしあき
笹井 由明

まちづくり

地方創生総合戦略とSDGsについて

問 ①第1次広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた項目について、どう評価されているか。

- ②第2次総合戦略の目標達成にどう取り組むのか。
- ③地方創生関係交付金活用事業の成果、今後の事業展開はどうか。
- ④マイナンバーカードについて、今後どう取り組むのか。

町長

①令和3年度の58項目の重要業績評価指標では、75%以上の達成が38事業で、約7割を占める結果となり、総合

計画審議会部会からは、一部の事業で見直しの必要もあるとされ、次年度以降につなげていく。

②第5次広陵町総合計画に準じ、行政評価制度を活用し検証を行う。

産業の活性化に関しては、デジタル技術を活用した新たな展開を行う。

③地方創生交付金を活用し、産業総合振興機構(なりわい)の創設等に関する事業やビジネスサポートセンターKOCO Bizの創設をした。

今後、なりわいを核とした地域産業の活性化を図るとともに、刷新された田園都市国家構想交付金をデジタル分野での活用も含め検討していく。

④2月19日時点で交付率62.4%、県下で平均を少し下回り、国には若干上回っている。

不登校問題

不登校児童生徒への支援体制について

今後、各区・自治会等にも出張し申請受付を行うなど普及促進に努める。

問 広陵町の不登校児童生徒実態と支援に対する基本的な考え方を問う。

教育長

不登校児童生徒の実態は令和3年度で、小学校25人、中学校で73人と増加している。これらの要因は、友人関係、親子の関わり方など背景は様々で、複数の要因が関係している。

委員会では、不登校問題に

対処するための指導主事、スクールカウンセラー等を配置し、子どもや保護者が相談できる環境づくりに努める。学校でも、担任、生徒指導教員が、保護者等と家庭訪問等で連絡を合いながら状況把握を行い体制を整えている。

その他の質問事項

○教員の働き方改革について

SDGsとはより良い地球を目指す世界共通の開発目標

学校教育

余裕ある教職員
の確保について



問 本町の基本目標にある、「次世代を担う子どもが輝けるまち」を掲げて、教育環境の充実を図っていくために次のことを問う。

- ① 本町における教員不足の実態は。
- ② 公立幼・保育園に、園長以外の管理職が配置されていないのはなぜか。
- ③ ICT支援員配置による、今日までの成果は。
- ④ 中学校部活動の指導員を配置することで、教員の業務負担を軽減することなど、今日までの成果は。

教育長

- ① 県教育委員会が、教員を補充する以外に、町自らもアテンナを張り教員の早期確保を配置に努める。
- ② 平成17年の総務省の指針により無配置であったが、令和5年4月より副園長を配置する予定。
- ③ 令和3年度から配置され、授業における端末の活用について支援。
- ④ 令和元年度から、運動部活動や吹奏楽等に配置。教員の業務負担が軽減されている。



食育推進

中学校給食の残食について

おかはし しょうじ
岡橋 庄次

問 令和4年4月から12月までの残食月平均は、広陵町12.4%、香芝市6.9%で、本町2校の残食率は、香芝市に比べ高くなっている。

- ① 香芝市内の中学生に比べ、広陵町内の中学校の残食率が高いのはどのような理由か。
- ② 家庭との連携は、特に残食率の高い生徒に対して、どのような方策を持っているか。

教育長

- ① 残食率は、体調不良などによる不登校の場合も、残食として扱われる。生徒たち



- ② 家庭との連携は、給食だよりなどで各家庭にも知らせる。

栄養教諭が頻繁に学校訪問し、生徒の嗜好等の確認をしながら結果を反映させる。

が食品ロスを理解し、残食は「もったいない」との意識を定着するよう指導に努めたい。

障がい計画

障がい者への寄り添いを問う



ほりかわ としのぶ
堀川 季延

問 広陵町では、令和4年度において小中学校で特別支援学級入級生は181名で、社会で自立できない重度障がいを持つ児童生徒がおられる。学校での具体的な支援内容を伺いたい。

義務教育の間は学校に通い、一定の支援を受け特性に応じた配慮がなされている。しかし、卒業し成人してから保護者の理解のもと生活されているが、行政としてどのような支援を生涯にわたりされているのか伺いたい。

「ゆりかごから墓場まで」という言葉があるが、障がいを抱えられたご家族へのサービスの提供を、行政はどのような

に構築され、家族に寄り添っているのか尋ねる。

町長

「障害者基本法」や「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の目的及び基本理念にある「障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるもの」として、障がい者の自立と社会参加の支援等の施策を総合的かつ計画的に推進していくことを、常に念頭に置きサービスの提供を進めている。そのために、全ての障がい者や障がい児ができる限りその身近な場所、必要な日常生活を営むための支援を受けられることにより、社会参加の機会が確保されること

と、さらに、どこで誰と生活するかについて選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと。また、障がい者や障がい児にとって日常生活を営む上で障壁となるような社会制度、慣行、観念などを除去することに資するよう、広陵町第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画並びに第3期障がい者計画を定めて、目標の達成を目指して支援している。

教育長

特別支援学級では、保護者とともに個別的教育支援計画を作成し、県立特別支援学校と連携して指導内容の工夫改善を行いながら、児童の発達段階に合わせた自立活動等の指導を行っている。

具体的な指導・支援内容と

しては、子どもの特性や発達段階に合わせて、通常学級で授業を受ける時間と特別支援学級で個別あるいは少人数で授業をうける時間がある。

例えば、通常学級で授業を受ける場合には、支援員等の支援を受けながら集団活動の中で自分の気持ちや意見を言うことを目標としたり、特別支援学級で授業を受ける場合には、知的障がいのある子どもでは、子どもの発達に合わせて学習内容を下の学年の内容に変更して学習することになる。





おかもと てるたか
岡本 晃隆

コロナ対策
今後の新型コロナウイルス感染症対策

問 国の変更方針をどのよう
に町民に周知するのか。変更
後の町の総合計画や各種事業
の見直しを検討していくのか。

町長

町ホームページ等を通じて
町民の皆様にも周知していく。
総合計画については、見直し
は考えていない。

問 保育園、幼稚園、こども園、
小中学校それぞれの現場でど
のように対応していくのか。
また、子どもたち及び保護者
への情報伝達、指導内容に変
更はあるのか。

町長

保育園、幼稚園、こども園
については、マスクは原則不
要とし、感染不安がある場合
のマスク着用は個々の判断に
任せることとする。小中学校
でも、本年4月1日から実施
の国の指針を適用するが、マ
スク着用については、適切に
指導していく。

働き方改革
**働き方改革の推
進に向けた取組**

問 町の働き方改革推進に向
けた今年度の取組内容とその
到達度評価の実施方法及び評
価を実施して出てきた課題と
その改善に向けた今後の取組
について

町長

多様な働き方の推進を図る
ため、仕事と家庭を両立しや
すい職場環境づくりに努めて
きた。また、高齢者部分休業
制度の導入を進めていく。到
達度評価の実施方法について
は、広陵町次世代育成支援・
女性活躍特定事業主行動計画
において、毎年、到達状況を
確認している。

問 保育園、幼稚園、こども
園における働き方改革推進の
取組と課題について

町長

園児数の多い広陵北かぐや
こども園と広陵南保育園につ
いて、園運営を補助するシス
テムを導入し、令和5年度か
ら本格稼働する予定である。

幼稚園においては、職員数の
充実を検討している。

問 学校における、働き方改
革推進の具体的な取組と成果
ならびに今後の課題について。

教育長

令和元年度から教員の勤務
時間の把握のためタイムカー
ドを導入。中学校2校には、
部活動指導員を配置。令和4
年度には、奈良県で統一した
統合型校務支援システムを導
入した。このようにハード面
での整備を終えたことにより、
教員の勤務時間がより短くな
るようにすることが今後の課
題である。



やつお はるお
八尾 春雄

社会教育

中央公民館の建て替えについて

問 この問題について2月21日議会全員協議会において報告があり、A更新・B大規模改修・C機能移転・D広域連携・E学校連携の五つの選択肢を示している。建て替えというならAないしBではないか、どうするつもりか。建て替えせずに済ませるつもりか。

理事者

現在検討中であり、東洋大に依頼した調査も年度内に回答をいただける見込みだ。

教育

学校給食無償化について

問 昨年12月議会です、令和6年4月から小学校給食費を月額400円引き上げること議決した。広陵町に隣接する7自治体ではこのようなことは決めていない。また昨年暮れの段階で全国の254自治体では給食の無償化が実施されている。引き上げを取りやめるだけでなく、小中学校の全面的な給食無償化を実施すべきだ。国も自治体が学校給食費に公費を投じることを容認する国会答弁を行っている。

教育長

学校給食法で賄い材料費の保護者負担を定めており、今

般原材料費の高騰により止む無く判断した。自治体が学校給食費に公費投入できることは知っている。

デジタル化

マイナンバーカードについて

問 現行の健康保険被保険者証を廃止し、マイナンバーカードに代替させる案が出て不安が広がっている。現行の被保険者証も残して使えるようにしてほしい。

理事者

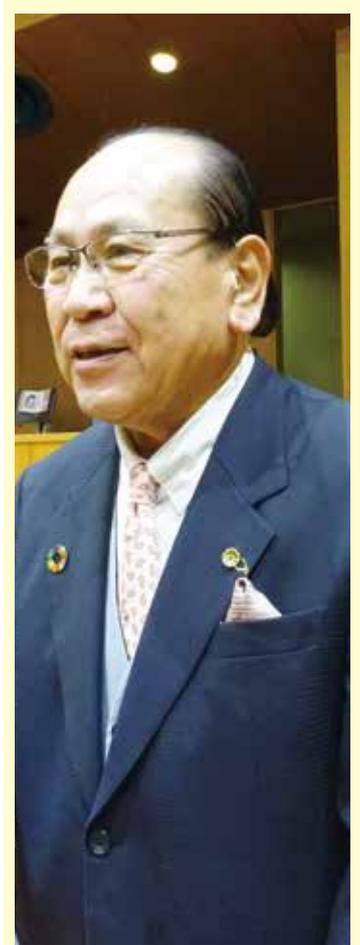
現行の被保険者証を廃止することは決定済みだが、新たに1年有効の『資格確認書』を発行する予定だ。尚、一部の自治体では、マイナンバー

カードの未取得を理由として、例えば学校給食費無償の制度を利用できなくすることが議論されていることだが、広陵町ではそのようなことは考えていない。

その他の質問事項

○菅野区開発13戸付近の防犯灯設置について





あおき よしかつ
青木 義勝

校舎避難可

洪水時に北小と東小校舎を避難所に

問 令和2年6月議会で提案した、両校区は避難所がなく、指定施設は遠方で、高齢者・身体不自由者には不便で危険。早急な対策を。

各校舎には、徒歩で行け、堅固な3階建てで、設備も整い、教室で区切られ感染防止に適して、前議会で提案の、「学校というハコモノを住民の「カラモノ」に即なる。

以前答弁で、緊急時は可能とするため、電源等諸課題は、関係機関と協議するとの答弁であったが、現状は。

町長

教育委員会と学校管理者と

課題を協議した結果、多目的室、特別教室が可能となり、備蓄品の発電機等資機材や食料品、生活用品、衛生用品を整備した。そして、各区長に公民館を一次避難所として開設を依頼した。併せて、避難所については、安全な親戚・友人宅に。2階以上への屋内避難も、これらを広報している。

更に元気村

はしお元気村の現状、充実の課題

問 指定管理者が、全国まちの駅協議会に登録の、はしお元気村マルシェについて、以下問う。

①開業、約2年経過した現状は、まちの駅登録で、全国の情報発信の効果、箸尾

町長

- ①マルシェは、令和3年度、来訪者3万4千人、売り上げ、2千631万円、令和4年度も同程度見込み、現時点での利用者ニーズに対応と判断。まちの駅登録の結果は未定。
- ②検討可能。
- ③貸館料減免は、はしお元気村条例に基づき、社会福祉協議会（社協）に登録の団体は、社協から町へ申請し、町が社協に許可をする。
- ④はしお元気村とも共有している。

- ①開業、約2年経過した現状は、まちの駅登録で、全国の情報発信の効果、箸尾
- ②検討可能。
- ③貸館料減免は、はしお元気村条例に基づき、社会福祉協議会（社協）に登録の団体は、社協から町へ申請し、町が社協に許可をする。
- ④はしお元気村とも共有している。



子育て支援
安心して安全な子育て環境の整備について



やまむら みさこ
山村美咲子

問 ①この度、妊娠期から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と、妊娠・出産時に計10万円相当を支給する財源が確保された。本町において、0歳児の見守り訪問事業の展開について、具体的に何をどの様に進めようとしているのか。特に、現場に寄り添う伴走型支援については、人材の育成や確保のための体制整備が必要だ。見解を聞く。

②産後のお母さんに寄り添ったサービスを提供する家事支援員（産後ドゥーラ）の育成や確保が必要だ。家事支援員等の資格を取るため

の支援制度の創設など見解を聞く。

③結婚を望む人に支援を充実させるため「結婚支援コンシェルジュ」の配置や、新家庭の経済的な軽減について見解を聞く。

町長

①出生児が2か月になるまでを目途に、全ての家庭を助産師や保健師が訪問。4か月児健診、10か月児相談を行い、成長発達を確認するとともに、保護者の悩みや心配事に傾聴し、寄り添い助言などを行っている。今後も、事業を継続し、伴走型相談支援に重要な関係機関の連携強化に努める。

②4月から奈良県では初めてとなるホームスタートを香芝市との相互連携により、

環境
農地における野焼きについて

③民間事業者等の事業力を活かした支援を検討していく。

NPO法人委託する事業を開始する。産後ドゥーラの確保についての調査・研究を行っていく。

問 令和5年度予算では、野焼きを行わない環境にやさしい農業推進補助金交付事業が、新規事業として予算計上されている。推進にあたり、周知し理解を得られるように町の取組を聞く。

町長

周知については、区長・自治会長会をはじめ、農業委員

その他の質問事項
 ○地域防災力の向上への取り組み強化を

会、支部長会において補助金創設の趣旨等を説明し、理解を得られるよう努力している。今後も、補助金等の制度周知を図りながら、誰もが住みやすい、農業しやすい環境づくりに取り組んでいく。





ちぎた しんや
千北 慎也

まちづくり
やりたいと困った
を繋ぐ協働の仕
組みづくり

問 広陵町においては、2021年度より「広陵町自治基本条例」を制定し、町民に対し、「情報共有」を行い、町民がまちづくりに「参画」し、町民行政・議会が「協働」で持続可能なまちづくりを行うことを目指している。実際に「協働のまちづくり」の事例は出てきているが、より広く継続的に自治基本条例の理念を体现するためにプラットフォームの整備が必要ではないか。まずは、広陵町がこれまで行ってきた「協働のまちづくり」の事例をとりまとしてHPで発信してはどうか。そうすれば、何か広陵町でチャレンジしたいと思っっている方の後押しに

なるのではないか。そして、そういった情報の発信に特化したSNSを整備すればより効果的な情報発信やブランディングにつながると思うがどうか。

理事者

「協働のまちづくり」の事例についてはHPで都度発信しているが、まとまっておらず、どこを見たらいいかわかりづらい状況となっている。取りまのための方法やSNSを使った効果的な発信について検討する。

問 事例の発信の次は、町民と町の課題を共有し、町民からの解決策を募ることだと思っう。先日の上田部奥鳥井線を活用した「ツムグフードスト

リート」のように、町の中で活用できる場所を示せば、事業を提案できる団体も出てくると思っう。道路、河川敷、公共施設、かつらぎの道等活用できそうなエリアがあるのでそういった情報や町の課題を取りまとして公表してはどうか。河川に関しては、国土交通省が「ポテンシャルリスト」として活用可能なエリアの取りまをとめを行っている。

理事者

本町には枚方市の「枚方市公民連携プラットフォーム」のような町の課題解決に向けた提案制度の仕組みは現状ないが、本町に適合したシステムの構築を検討する。





さかの よしひろ
坂野 佳宏

都市計画

中和幹線周辺の
地区計画の進捗
状況は

問 六道山、大塚地区の中和幹線両側での地区計画による企業誘致計画が進められていることについて、今後の予定はどうなるのか。

地元の意向の聞き取りや、説明会が無いのは何故か。

現在、地元不動産業者が先買いするため地権者宅を回っている。

安価で売り急ぎしないよう、意向調査か説明会を急いでいただきたい。

町長

2年間、土地利用計画を進めるため、企業ニーズ調査と農業振興ゾーンの設定を研究

し、奈良県関係機関とも協議を行う中で、農政部局からも一定の理解を得た。

産業総合支援課、農業振興課、都市整備課の3課が、連携して進める必要があるので、関係部課長には緊密かつ積極的な連携を指示している。

令和5年度の取組としては、農業振興課は、農業関係者へのアンケートやワークショップを行う予定である。

次に、産業総合支援課は、これまでに進出意向を示していた企業と更に協議を重ね、企業立地に向けた調整を進めるとともに、可能性のある企業には訪問によるサウンディング調査を実施する。

都市整備課はこれまでの企業ニーズ調査の結果や意向調査などから、周辺の道路整備について行政が中心となって行うことが望ましいとの声が

あり、更なる企業呼び込みにつながるよう、道路整備に向けた調査を進めていく。

土地活用ゾーンの案を持って地元協議を進めていきたい。

動物愛護

ドッグランについて

問 令和4年6月の一般質問でドッグランの設置をお願いしたところ、町長の私見として、現リレーセンターの空き地で検討してみたいと答弁された。

その後、検討されたのか、また、その結果はどうなったのか。

町長

実施にあたりどのような運

営すべきか検討しているが、まだ、試行には至っていない。去年、町内商業施設運営会社から駐車場を活用したドッグランの整備の提案を受けたことから、系列会社の施設の視察を行った。

運営会社から提案いただいた行政で整備を行い、民間で運営する公民連携での手法も検討している。

今後、どれくらいの方が利用されるのか、地域分析を踏まえ現在研究中である。

ワークショップとは
参加型意見交換の場

サウンディングとは
公募により、民間の事業から
広く意見を求める

第19回

地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

おはなしぽっけ プチトマト

活動内容

1987年に、「なのはな文庫」として発足し、文庫活動からスタートしました。今日では、子どもたちを対象に、大型紙しばいや人形劇、ブラックパネルシアター、影絵、ペープサートなどを手作りして、幼稚園、小学校、図書館、子ども会などで、おはなし会を開催しています。もちろん、子どもたちの笑顔に会えるのが一番のモチベーションになっていますが、みんなで、アイデアをいろいろ出しながらの、にぎやかな製作活動も、私たちの大事な楽しいひと時になっています。



▲おはなしぽっけ プチトマトの皆さん

活動場所

- 毎週土曜日 14:00~16:00
(真美ヶ丘体育館和室)
- 依頼のあった日
(幼稚園、小学校、図書館、子ども会など)



▲大型紙しばいの様子



問合せ先

広陵町社会福祉協議会 (さわやかホール)

☎0745-55-8300 おはなしぽっけプチトマト 代表 安藤 三恵子

委員会の窓

総務文教委員会

議案第7号 職員の高齢者

部分休業に関する条例の制定について

質問 この制度を活用することとは、55歳を過ぎた方にとって選択肢の一つとなり得るのか。

回答 常勤勤務者の正職員が対象となる。身体的な事情により病休を取った方は、職場復帰はするが通院が必要な方もいるため、この制度を活用すると思われる。ただし、1時間に対し給料減額支給が規定されており、本人に不利益が生じる。年休を取り、不足する場合に活用すると想定している。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第8号 地方公務員法

の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

質問 定年延長になった方が役職に就くこともあるという認識でよいのか。

回答 役職定年が基本となるが、特任事項がある場合は、特例で役職を継続することを条例で制定している。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第9号 職員の定年等

に関する条例の一部を改正することについて

質問 定年前の再任用短時間勤務と高齢者部分休業の違いは何か。

回答 定年前の再任用短時間勤務では、一旦退職となつてから短時間勤務を選択してもらう。高齢者部分休業では、そのままの身分で勤務してもらうため、諸手当等は常勤と同様である。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第16号 令和4年度広

陵町一般会計補正予算(第11号)

質問 百済中央線バイパス整備事業の予算が、2,000万円減額補正となっているが、今後どのように事業を進めていくのか。

回答 国庫補助金3,000万円の予算要望の中で、国から1,000万円が確定したため、差額2,000万円を減額補正している。国庫補助金1,000万円については、百済バイパスにおける排水構

造物の設計等に支出している。来年度には、バイパス本体の一部整備と排水構造物の整備工事を予定し、令和7年度完了予定で事業を進めたい。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第28号 広陵町公共施

設等総合管理計画の一部を改訂することについて

質問 PFIなどの公民連携手法を取り入れることについて、民間に任せられる部分は、民間に任せられる部分は町がすべきと考えるが、町の見解はどうか。

回答 歳入については、公共施設等総合管理計画を策定する最終の40年後を見据えるのと、住民税は約1割減少する見込みである。

公共施設では、減価償却率が約7割に近づこうとしており、県内の公共施設でも老朽化率が比較的高いことを示している。本町の特徴としては、真美ヶ丘ニュータウンの開発時に公共施設が一斉に建てられた状況もあり、解消するには税金のみで対応は難しい。そのため、公民連携手法を積極的に活用し、公共施設をより適正効果的に更新していき

たいと考えている。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

厚生建設委員会

議案第10号 広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて

質問 令和6年度からの県単位化後は県のどこに住んでも同一の保険料ということならば、同一の保険料ということならば、広陵町の方が、他の市町村へ転出した場合でも、所得割や均等割等の税率は同じであるのか。

回答 令和6年度からは、転入・転出に関しても県内であれば全て同じ税率である。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第11号 広陵町特定教

育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び広陵町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて

質問 懲戒権というのはどのようなものでなぜこのタイミングで改正するのか。

回答 懲戒権というのは「親

第1回定例会（3月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された16件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

のしつけをする権利」として民法に規定されていたものであるが、民法から懲戒権という文言が削除されたことに伴い、当条例の条文も不要になった。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第12号

広陵町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び広陵町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて

質問 送迎の際の、子どもの積み残しについての対策は。

回答 今回の法律改正に伴い、送迎バスにブザー等の安全装置の装備の義務化がされた。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第13号

広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて

質問 産科医療補償制度に加入していれば、出産一時金を42万円から50万円に引き上げることだが、出産費用はもっとかかるのではないかと。

回答 出産費用に関しては帝王切開になれば50万円未満になるなど、50万円で足りるケースと足りないケースがある。出産一時金の金額の算定については、令和4年度の全施設の出産費用の平均額で決定した。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第14号

広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて

質問 給水の配管工事について、隣の方の同意がなくても、誓約書だけで工事に着手できないのか。また、訴訟になった場合には施工主は保護されるのか。

回答 民法で定められた権利なので、訴訟になれば、生活のために必要な継続的給付については認められると考えられる。しかし、基本的には同意を得ていただくのが理想であり、町としても両者の調整を図るなど、サポートに努める。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第15号

広陵町エコセンター設置条例の廃止について

質問 エコセンターの跡地はどうなるのか。また、紙すき教室の事業継承は。

回答 3月末に実施する、公共施設のあり方検討委員会で検討する予定。紙すき業務で使っていたマテリアル機能が、所期の目標を達成したことから、見立山公園でシルバー人材センターが実施しているポケットの事業や役所の文書保管庫として活用できないか検討中。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第26号

広陵町まちづくり推進計画を定めることについて

質問 自治基本条例の推進に際しては、職員だけではなく地域を巻き込んだ研修にしてはどうか。

回答 校区単位で地域の意見交換会も検討している。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第27号

広陵町男女協働参加後期行動計画を定めることについて

質問 パートナリシップ宣誓制度はいつどのような形での

導入が見込まれるか。
回答 要綱での整備を検討している。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第29号

奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置に関する協議について

質問 協議会が設置されると、水道料金の決定権を、市町村議会は失うことになると思われるが、それでは住民の意思が反映されなくなるのでは。また、各市町村の窓口はどうなるのか。

回答 広陵町も協議会の中に入り意見も言えるので、住民の声は反映されると考えている。また、各市町村の窓口は約10年間は各市町村に残し、その後いくつか統合していく。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第30号

奈良県葛城地区清掃事務組合規約の変更に

全員一致で可決すべきものと決しました。

議会日誌



- 2月
 - 10日 北葛城郡町議会議長会定期総会
- 3月
 - 3日 第1回定例会(初日)
 - 8日 第1回定例会(2日目)
 - 9日 第1回定例会(3日目)
 - 10日 第1回定例会(4日目)
 - 13日 総務文教委員会
 - 14日 厚生建設委員会
 - 15日 予算審査特別委員会
 - 20日 議員懇談会
 - 22日 第1回定例会(最終日)
- 4月
 - 6日 第2回広報編集委員会
 - 14日 全員協議会
 - 17日 第3回広報編集委員会
- 27日 第1回広報編集委員会 期総会
- 22日 県町村議会議長会定期総会
- 27日 第1回広報編集委員会
- 22日 県町村議会議長会定期総会
- 14日 全員協議会
- 6日 第2回広報編集委員会
- 14日 全員協議会
- 17日 第3回広報編集委員会

広陵町 議会だより No.121

3月定例会 令和5年5月1日

発行／広陵町議会 編集／議会広報編集委員会 〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583番地1 TEL0745-55-1001 FAX0745-55-1165



竹取公園



百済神主



新しい制服でがんばってね



馬見丘陵公園

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記



新型コロナウイルス感染症はまだ終息には至っていませんが、5月には新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行することになりました。桜の開花とともに、外出される方が増えはじまりました。3年にわたるコロナ感染拡大は、私たちの日常生活を大きく変化させ、健康意識の高まりや人との関わりの大切さに気付かされました。

広陵町は、健康長寿のまちをめざして様々な取り組みをしています。介護予防リーダー（KEEP）が「通いの場」や「いきいきサロン」に出向き、地域の方々との交流を深めています。また、「骨折0（ゼロ）のまち」実現に向け、大分トリニータのトレーナーによる「脳トレ（ライフキネテイク）」事業も開始されました。

3月議会では、そうした事業を含む令和5年度の予算をはじめ上程された議案を審議し、すべて可決しました。この「議会だより」を通して、町政や議会の情報を住民の皆様にもわかりやすくお伝えできるように、広報編集委員会では心掛けて取り組んでいます。これからも皆様のご意見やご要望をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いたします。

- 広報編集委員会
- 委員長 山村 美咲子
 - 副委員長 山田 美津代
 - 委員 堀川 季延
 - 委員 千北 慎也
 - 委員 岡本 晃隆
 - 委員 岡橋 庄次



広陵町ホームページ http://www.town.koryo.nara.jp

